

議事堂耐震診断については、事前調査の結果による概算費用を勘案の上、9月定例会に耐震診断の予算を計上し、来年3月に結果を出したい。

補強により使用可能との結果が出た場合、23年度に補強の方法と概算費用の調査を行い、同年9月頃に結果を出したい、との説明があつたが、二ツ井町庁舎の議場の使用、文化財としての価値があるのか、まちづくりとしての観点を持つべき、など多岐にわたり意見が出

されたが、今後、庁舎整備とのかわりもあることから、議会と相談しながら検討したい、との答弁があつた。

浸水対策住宅改善支援事業費について、ブロック塀設置に補助する際に標準的な施工仕様を提示し、防水効果が得られるよう配慮が必要なのではないか。逆流を防止するための止水バルブを設置することも検討してはどうか、との意見があり、検討の材料として考えている、との答弁があつた。

また、県による河川改修とのかかわりについて質疑があり、現在調査中であり、今後ハード面の浸水対策を協議し、結果については秋以降になること、県による対策が実施されるまでの当面の対策との位置づけである、また、開発許可についても今後慎重に行う、との答弁があつた。(島)

農林水産業費について、今回計上された各種事業が当初予算に計上されなかったのはなぜか、との質疑があり、新規需要米生産体制緊急整備事業費及び地域調整活動推進事業費は、県からの内示が当初予算編成後にあつたため、また、水田利活用緊急支援対策事業費補助金は国、県の激変緩和措

能代市在宅障害者支援施設条例の一部改正で指定管理者の募集方法について、指定管理者制度は公募が原則であるが、設置目的、経緯等を考慮し、適当と判断される場合は非公募で候補者を選定することができる。これまでの経緯や事業者の変更に伴う利用者の精神的な動揺の回避等の理由から非公募で社会福祉法人能代ふくし会を候補者とすることが望ましいと考える、との答弁があつた。

能代市在宅障害者支援施設条例の一部改正で二ツ井地域の住民への周知について、5月の地域協議会で説明しているほか、6月発行の「のしろの国保」、7月に発送する納税通知書に同封するお知らせ等で周知したい。その際、住民が理解しやすい形で周知したい、との答弁があつた。

二ツ井、第四小学校のグラウンド芝生化について、乗用芝刈り機を活用し、維持管理が適切にできるよう検討していきたい、との答弁があつた。

文教民生委員会

総務企画委員会

委員会審査報告



建設委員会

環境産業委員会

秋田社会保険病院の存続に関して、市の対応と対策について、地域にとって重要な中核医療機関であり、国、県等に公的医療機関として存続できるように要望活動を行っている。現在運営している機構の設置期限が9月末であり、新たな機構法案の成立を願っている、との答弁があつた。(針金)

市道路線廃止による周辺への影響と今後の手続に関して、住民説明会を行い、一定の理解は得られている。廃止路線は2カ月間は維持管理した後、住吉町住宅建替事業区域として通行どめになる、との答弁があつた。

社会資本整備総合交付金について、自由度の高い総合交付金として、今年度から始まった。当初は、要望分の約7割しか認められず、その後の追加で増額したものであり、との答弁があつた。

置の詳細な内容が明らかになったため、市独自の支援策を打ち出したものであり、農地利用集積事業費補助金は国からの詳細な情報があつたためである。また、担い手育成・確保支援事業費は、アグシヨンスポート事業が行政刷新会議の事業仕分けにより、当初予算編成後に事業廃止が決定したためである。また、土壌分析事業費は土壌分析検査体制の拡充を図るため、緊急雇用創出事業を活用し、臨時職員を雇用することにしたためである、との答弁があつた。

アーケード撤去に関して、アーケードは市の所有で維持管理を各個店で行っている。撤去をお願いしているが納得が得られていない。強制撤去をすることは、現段階では難しいと考えている、との答弁があつた。

橋りょう長寿命化修繕計画は、大規模修繕等ではなく早めの修繕で長く持たせたりトータルコストを下げるのが目的である、との答弁があつた。